



たっおの
ジグソーパズル

え はまだぴに
さく たかはらのぶあき



おれの 名前は たつお。
おれが すんでいるのは、県のちょうどまんなかくらいの場所にある、
とてもちいさな町だ。

たつお という名前は おとうさんがつけてくれたらしい。
おとうさんは、おれがもっともっとちいさいときに しんでしまったんだ。



おれのかぞくは、おかあさんと 妹のすみこ、そしておばあちゃんだ。
おとうさんがいなくなって、おかあさんは 毎日しごとがいそがしい。
だから、おれと すみこのごはんを作ってくれたり、
せんたくをしてくれるのは おばあちゃんだ。



おばあちゃんが入院してから、
晩ごはんはコロッケばかりになったし、
ごはんじゃなくてパンのときもある。
すみこはパンが好きみたいだけど、
おれはおばあちゃんのみそ汁と
ごはんがいい。

ちょっと前から、おばあちゃんが
かぜをこじらせて 入院している。
毎日、おれはおみまいにいくけど
だんだんおばあちゃんの元気が
なくなっていくのがさびしい。
このごろ、野球をやっているも
ちっともおもしろくないのはそのせいだ。

小学校は、家から歩いて10分くらい。
田んぼをぬけて、国道をわたって、大きな川の土手があるいて、
橋をわたって、小さな商店がいをぬけると、そこが小学校だ。

学校は楽しい。
友だちと毎日あそんで、勉強して。
まあ、勉強はすごくにがてだけど、体育はとくいだ。

